

4. 鹿角・南部街道—梨ノ木峠越・車之走り峠越

選定箇所：荒屋新町、車之走り峠、梨ノ木峠（岩手県八幡平市）～湯谷峡谷（秋田県鹿角市）

概要：奥州街道の脇街道の一つで、盛岡城下から寺田・荒屋・田山（八幡平市）を経て鹿角（鹿角市）に至り、米代川沿いに花輪・神田・松山を通過して土深井の藩境を越え秋田藩十二所・扇田へと向かう北奥羽の横断ルートだった。元慶2年（878）秋には陸奥国府軍が秋田城救援のため鹿角街道を通過して秋田入りしたといわれている。鹿角郡において17世紀初頭以降、金山開発が興ったことを契機として整備され、その後も尾去沢銅山と城下を結ぶ銅の道として、盛岡藩の財政を支えた重要な街道であった。車之走り峠は鹿角街道の難所の一つであった。



【写真提供：八幡平市】



湯瀬溪谷（旧街道）（秋田県教育委員会『鹿角街道』）